

# 済生会山口総合病院 外来医師担当表

2021年5月20日現在 **【受付時間…午前8時30分～11時】※予約の場合を除く**

●診療開始時間は午前9時から(曜日等により異なる場合があります)。ただし急患の場合はこの限りではありません。  
●都合により代診・休診とさせていただく場合がありますのでご了承ください。

診療科名		月	火	水	木	金
内科 083-901-6102 ※呼吸器内科、完全紹介予約制	循環器	山田 倫生	小野 史朗	金本 将司	小野 史朗	國近 英樹
		金本 将司	國近 英樹	担当医		山田 倫生
		安藤 亮太郎	今井 剛	和泉 隆平	今井 剛	和泉 隆平
	糖尿病・血液	藤田 直紀	村木 和彦		村木 和彦	藤田 直紀
		末富 史佐 (午後1時～)		末富 史佐 (午前9時～午後0時)	*非常勤医師(血液)	
	消化器	原田 稔也 (消化管)	石垣 賀子 (胆臓)	花田 浩 (肝臓)	輪番制	日高 勲 (肝臓)
	呼吸器	*非常勤医師 (午前9時30分～)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午後2時～)
○糖尿病・血液内科 木曜日 村木医師(終日)、非常勤医師(第1・3・5…終日、第2・4…午前8時30分～午前11時) ○消化器内科 木曜日 輪番制(第1 花田医師、第2 原田医師、第3 日高医師、第4 石垣医師、第5 原田医師)						
外科 083-901-6107	1診	小林 俊郎 (心臓血管)	高橋 剛 (消化器・乳腺)	郷 良秀典 (心臓血管・呼吸器)	神保 充孝 (呼吸器)	高橋 剛 (消化器・乳腺)
	2診	斎藤 聰 (血管)	上杉 尚正 (再診のみ)	大塚 遼 (心臓血管)		
【専門外来】○乳 腺 外 来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤医師の診察となります。						
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲 啓治	大場 一生	時高 智志	大場 一生	時高 智志
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	竹野 研二	*非常勤医師	竹野 研二	竹野 研二	竹野 研二
○竹野医師 午前9時～診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始						
脳神経外科 083-901-6109	1診	湧田 幸雄	北原 哲博	*完全予約制 湧田 幸雄	小泉 博靖	北原 哲博
	2診	小泉 博靖				
○北原医師 【受付時間】午前8時30分～10時 ○2診 第1月曜日のみ 非常勤医師(※完全予約制)						
整形外科 083-901-6108 ※完全紹介制	初診	大中 博司 (脊椎・外傷)	三原 修三 (肩関節)	岸本 哲朗 (脊椎・人工関節) 大中 博司 (脊椎・外傷)	*完全紹介予約制 岸本 哲朗 (脊椎・人工関節)	大野 晃靖 (手の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸本 哲朗	大野 晃靖	初診・再診 森 重昌志 (関節・外傷)	大中 博司	三原 修三
○初診 水曜日 第1・3…大中医師、第2・4…岸本医師						
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷 信三	*非常勤医師	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三
眼科 083-901-6123 ※完全紹介予約制	1診	休診	*非常勤医師	休診	*非常勤医師	休診
皮膚科 083-901-6110 ※完全紹介制	1診	*非常勤医師	休診	*非常勤医師	休診	休診
小児科 083-901-6106	1診	*非常勤医師	休診	休診	休診	休診

\*印は非常勤医師

## 医療機関の先生方へ

放射線科	CT・MR・RIは次の電話番号から直接ご予約が可能です。《放射線科の診療は完全予約制です。》 ●CT予約…083-901-6149 ●MR予約…083-901-6151 ●RI予約…083-901-6154 予約受付〔月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時〕(※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。)
栄養科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177

**患者サポートセンター**  
**地域連携室**

患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。

予約受付  
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時  
TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357

**《用語の解説》**

★完全予約制…事前に予約をお取り頂くことが必要な外来  
★完全紹介制…医療機関からの紹介(紹介状の持参)が必要な外来  
★完全紹介予約制…医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

Life No. 153

済生会山口総合病院広報誌 2021年6月10日発行

済生会山口総合病院 〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表) FAX 083-921-0714

地域医療支援病院/日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 済生会支部

**山口県済生会山口総合病院**

発行：地域連携委員会 広報チーム  
発行責任者：院長 城甲 啓治  
〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2021年6月号

自由に お持ち帰り ください

No. 153

Life ライフ

放射線部より

**県内初!! (2021年3月現在)**

**最新の透視システムを導入**

高画質 被ばく低減 大型モニター 安全性向上

当院では2021年3月に最新の透視システム『CUREVISTA Open』を山口県内で初めて導入しました。本透視システムは、胆管結石や閉塞性黄疸に対する内視鏡治療(ERCP)など主に透視下内視鏡治療を行う際に使用する装置です。

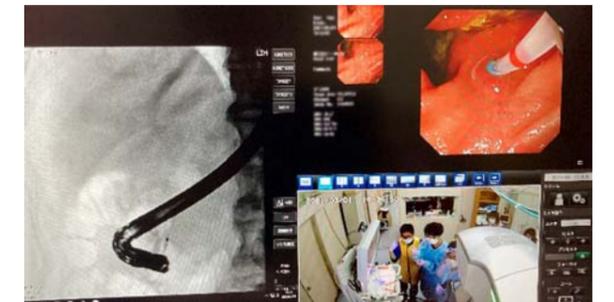
この『CUREVISTA Open』では、治療に必要な高画質な透視画像が得られ、かつ被ばく量が低減されており、以前より少ないX線量での検査が可能となります。また本装置は、アームが2方向に自在に動く(2WAY ARM)のため、視野移動のために患者さん自身を動かす必要がなくなり、安全性に配慮されています。



(撮影：令和3年3月下旬)

また大型モニターを導入したことで、CTなど他の撮影済みの画像情報や呼吸状態、血圧などのバイタルサインも同時に提示可能となり、視線を大きく変えずに様々な情報が得られ、検査をスムーズに行える環境が整いました。

本透視システムを用いて、より安全で良質な医療を提供することを心がけたいと考え、スタッフ一同、気持ちを新たに精進しております。



## 理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 良質の医療サービスを提供します。
- 目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

- 平等で適切な医療を受けること
- 尊厳が守られること
- 医療に関する説明や情報の提供を受けること
- プライバシーが守られること
- 自らの意思で医療を選択すること
- 他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めること

医療費に関するご相談をお受けしています

当院では、社会福祉法にもつぎ、生計困難者に対して、無料または低額の費用で適切な医療を受けていただけるよう支援を行っています。

相談 医療社会事業室 窓口 TEL 083-901-6268(直通)

# 手術前後におけるワクチン接種の 注意点について

麻酔科部長 柴崎 誠

永遠に続くウイルスや細菌との戦いの中で、人類が発明したワクチンは最大にして最強の矛であり盾であると言っても過言ではありません。もちろん、ワクチンにはアナフィラキシーなどの副反応が、頻度は低いものの一定数あることは否めません。しかし、ゼロリスク(危険性をゼロにすること)がどれほど困難なことかは昨今の状況を鑑みれば、すでにご理解いただけていると思います。私たちは正しい知識を身につけて、リスクとベネフィット(危険と利益)を天秤にかけながら選択の連続の中で生きていかなければなりません。

さて、手術を予定されている患者さんの中には手術の前後にワクチン接種を予定されている方もいらっしゃると思います。ワクチン接種と手術の日程がほぼ同じ場合、ワクチン接種による副反応と術後合併症とを区別できず適切な対応が困難になることが危惧されます。また、全身麻酔を受けると2日間程度、免疫力が低下することが知られています。そのため、手術前後にワクチン接種を受けられるとワクチン接種の効果を得られない可能性があること、生ワクチンに関しては最悪、その病気に感染してしまう可能性も否定できません。よって、当院では不活化ワクチンは術前14日前まで、生ワクチンは術前28日前までに接種していただくようにしています。また、手術や治療

に際して血液製剤を投与される場合もあります。血液製剤の中には、接種を予定しているワクチンに対する抗体が存在することがあり、その場合にはワクチン接種の効果が十分に得られないこともあります。これから広く国民に接種される予定の新型コロナウイルスワクチンは、新しいタイプのワクチンですが、その性質は不活化ワクチンと同等と思われます。これらのことを踏まえて、手術を受けられる患者さんの安全性とワクチン接種の効果を最大限に両立するために、当院では手術前後におけるワクチン接種との間に空けるべき期間を右表のごとく決定しています。もし、何かご不明なことがございましたら、ご遠慮なく麻酔科医をはじめ、当院スタッフにお尋ねください。

当院における基準 =接種できない(空けるべき)期間=

一般的な手術をした場合 ※他院と基準が異なる場合があります。他院で手術を受けられる場合は、その病院の主治医や麻酔科医に事前にご確認ください。

	手術前 <sup>[1]</sup>	手術後 <sup>[2]</sup>
・ <b>新型コロナワクチン</b>	14日間	
・不活化ワクチン	14日間	7日間
・生ワクチン	28日間	

[1] … 手術前；接種から手術までに空けるべき日数  
[2] … 手術後；手術から接種までに空けるべき日数

手術や治療で血液製剤を使用した場合

※血液製剤：濃厚赤血球、新鮮凍結血漿、血小板、ガンマグロブリン製剤

	投与後 <sup>[3]</sup>
・不活化ワクチン、BCG、ロタ	7日間
・生ワクチン(BCG、ロタ以外)	84日間(約3カ月)

[3] … 血液製剤投与後から接種までに空けるべき日数

不活化ワクチン…インフルエンザ、肺炎球菌、破傷風トキソイド、B型肝炎、A型肝炎、子宮頸がん(HPV)、ヒブ、四種混合(DPT-IPV)、三種混合(DFT)、二種混合(DT)、不活化ポリオ、日本脳炎、髄膜炎菌、狂犬病

生ワクチン…麻疹・風疹混合(MR)、麻しん、風しん、水痘、BCG、おたふくかぜ(ムンプス)、ロタ、黄熱

